

スーパークールビズとウォームビズ

スーパークールビズ

2011年3月の東日本大震災を受け、2011夏はこれまでに無い節電への対応が求められ、ファッションも着心地だけでなく、見た目にも涼しげで清潔感があるものが求められるようになりました。これまでのビジネスシーンとの違いは、クールビズスタイルを積極的に受け入れ、カジュアルアイテムをコーディネートのポイントとして活かしている点です。

代表的なスタイルとしてはノージャケット、ノーネクタイがあげられます。今期は「スーパークールビズ」と名前を変え、ポロシャツやTシャツ、チノパンなどのカジュアルアイテムが新たにオフィスウェアとして受け入れられました。

ウォームビズ

2012秋冬にはウォームビズのスタイルが注目されます。環境省は、オフィスの暖房を20℃に設定することを推奨し、オフィス内での衣服内温度の調節を呼びかけています。今シーズンの特徴は次の3点です。

1) インナーウェアを重視する

吸湿発熱素材のインナーウェアが注目できます。人体から発せられる汗などの湿気を取り込み、これを水に変えると同時に熱を発生させる作用があります。水分を含んだ状態ではすぐに寒さを感じてしまいますが、表面積の大きな繊維によって水分をすばやく拡散させ、体の冷えを抑えます。また、中が空洞の糸などを使っているため、空気層の断熱効果による保温機能もあるのが特長です。

2) 室内着を用意する

室内着として注目されるアイテムとしてはカーディガンがあげられます。よりビジネスシーンで着用しやすいことを考慮すると下襟付きのデザインやへちま襟など、ジャケットのような工夫を施したカーディガンが流行の兆しを見せています。

3) 重ね着をする

インナーウェアと室内着との併用が注目されます。レディースはレギンスとレッグウォー

マーの足下の重ね着が、新しいスタイリングです。

「3つの首」を重視する

首（頸部）、手首、足首の3つの首は、動脈が皮膚に近い位置にあるため、温めることにより体に流れる血液の温度が保たれ、体感温度も維持されます（図1）。ノーネクタイのクールビズで体感温度が下がるというのも、この首（頸部）の動脈を冷やすことによる効果です。

クールビズは、ビジネスシーンにおけるフォーマルとカジュアルといった概念を生みました。たとえば重要な会議では、クールビズであってもジャケットを着用するといった考え方です。カジュアルなノーネクタイのビジネススタイルは秋冬でも継続して流行する傾向にあり、ウォームビズのノーネクタイ・スタイリングとして、ハイネックセーターが注目されるアイテムです。

「3つの首」を温めることにより、暖房の設定温度が控えめでも温かく過ごすことができます。無駄なエネルギーを使わず、快適に過ごせるファッションが2012秋冬の流行傾向といえます。

■ウォームビズポイント

1. 首

2. 手首

3. 足首

くつ下は
体感温度が0.6℃UP

財)省エネルギーセンター

図1 3つの首

事業化支援本部<墨田支所>

加藤 貴司 TEL 03-3624-4091
E-mail:kato.takashi@iri-tokyo.jp